

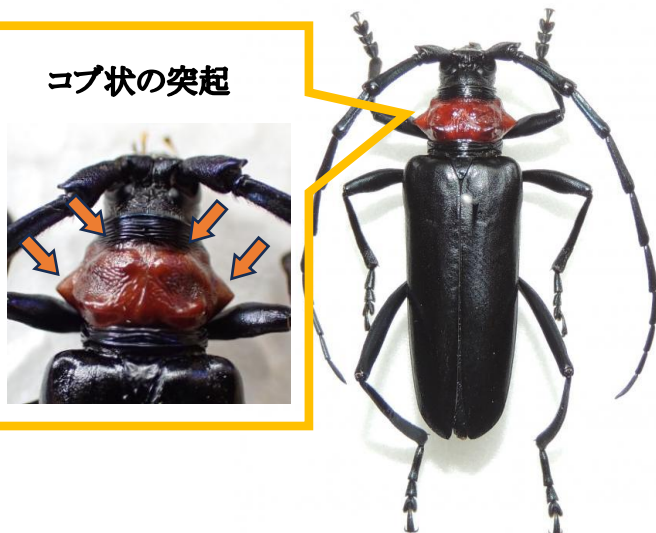
特定外来生物 クビアカツヤカミキリ 警戒中!!

～発見した時には情報提供をお願いします～

山梨県病害虫防除所 TEL:0551-28-2941

【確認ポイント】

コブ状の突起



- 胸部は赤く、コブ状の突起がある
- 体は黒色でツヤがある
- 体長は2～4cm
- 幼虫がモモ、スモモ、サクラなどバラ科樹木を食い荒らす

写真提供:埼玉県環境科学国際センター

【生態】



成虫

・成虫が6～8月に発生



卵

- ・6～8月樹皮の割れ目に産卵
- ・ふ化後樹木の中に食入

- ・幼虫が樹木の内部で2～3年かけて成長
- ・幼虫が入り込んだ樹木からはうどん状のフラスを排出
- ・成長が進むと大量のフラスを排出

写真提供:埼玉県環境科学国際センター



脱出孔

・樹木の中でさなぎから成虫になり、縦長の孔をあけて脱出



幼虫



フラス

【フラスの見分け方】

※フラス:木くずと虫糞などが混じった物



クビアカツヤカミキリのフラス
(太く長くつながる)



コスカシバのフラス
(球状)



ゴマダラカミキリのフラス
(固まらない)



蟻道
(蟻が移動するトンネル)

写真提供:(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所

農地で発見したら、地域の農務事務所または病害虫防除所へご連絡ください。

中北農務事務所 農業農村支援課

TEL:0551-23-3291

峡東農務事務所 農業農村支援課

TEL:0553-20-2830

峡南農務事務所 農業農村支援課

TEL:055-240-4131

富士・東部農務事務所 農業農村支援課

TEL:0554-45-7832

※農地以外で発見した場合は、市町村または県林務環境事務所までご連絡ください。

【幼虫の対策】

1. 掘り取り、捕殺(刺殺)

- ・針金や千枚通しでフラスを掻き出し、幼虫を刺殺する。

2. スプレー式殺虫剤の注入

- ・幼虫の刺殺後、殺虫剤があふれるまでフラスの排出孔に注入する。
- ・一週間後に新たなフラスの排出がある場合は再度処理する。

3. 被害樹の伐採・抜根

- ・被害の甚大な木は伐採し、焼却や破碎、薬剤くん蒸を行う。

【成虫の対策】

1. 捕殺

- ・独特の強い匂いの液を出すので、靴をビニールで覆ったり手袋を着用した上で処理する。

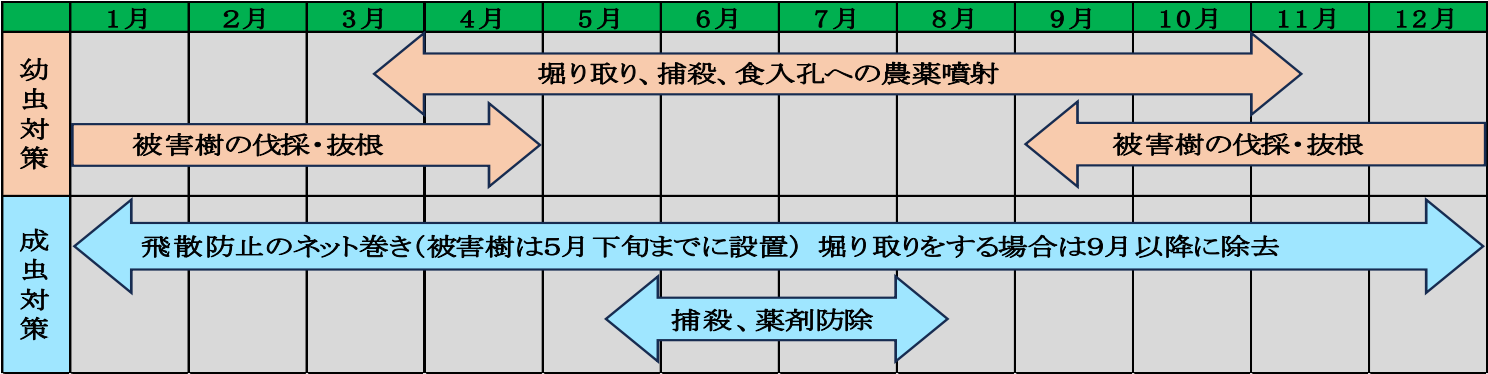
2. 薬剤散布

- ・被害樹の根元から可能な限り高いところまで登録農薬を散布する。

3. ネット巻き

- ・フラスを確認したら、羽化した成虫が他所へ飛散しないようにネット(目合い4mm以下)を幹に巻き、紐やガンタッカー等で縛る。
- ・ネットの噛み切りやネットの上からの産卵を防ぐため、ネットと樹体は密着させず隙間を持たせる。
- ・雌成虫の産卵管の侵入を防ぎ、樹体への産卵を抑制するには0.4mm程度の目合いのネットの使用が望ましい。

【対策時期】



【主な登録農薬】

2026年7月3日時点の登録内容			適用作物名				
IRAC	対象	薬剤名	モモ	スモモ	アウトウ	ウメ	ネクタリン
1B	成虫	スミチオン乳剤	○	×	×	○	×
3A	成虫	アグロスリン水和剤	○	○	○	○	○
	幼虫	ロビンフッド (フラス孔へ注入)	カミキリムシ類 ○	カミキリムシ類 ○	カミキリムシ類 ○	カミキリムシ類 ○	果樹類のカミキリ ムシ類 ○
4A	成虫	アクタラ顆粒水溶剤	○	小粒核果類 ○	○	○	○
	成虫	ダントツ水溶剤	○	○	×	○	×
	成虫	モスピラン顆粒水溶剤	○	○	○	○	×
14	成虫	パダンSG水溶剤	○	○	×	×	○
21A	成虫	ハチハチフロアブル	○	×	×	×	○
22B	成虫	アクセルフロアブル	もも類 ○	○	×	○	もも類 ○
28	成虫	テッパン液剤	○	小粒核果類 ○	○	小粒核果類 ○	×